



池辺こども園 園長からの手紙

令和2年6月



「敬意ある思いやり」で

池辺こども園 園長 若山 芙蓉



季節は、初夏へ。木々は、いっそう緑鮮やかに、花々は、辺りを華麗に彩っています。

保護者の皆様には、4月14日より5月31日までの新型コロナウイルス感染拡大防止のための登園自粛に際し、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

長いトンネルから抜け出した安堵感とともに、新しく始まる環境への期待と不安の入り混じった気持ちが、多くの方々の現在の心境ではないでしょうか。

今、私達の眼前にある厳しい状況は、地球規模で広がっており、そこに生きる私達に新しく与えられる環境となるかもしれません。この環境は、過酷で多様な課題を抱えています。しかし、私達が生きて行くには、これらの課題に一人一人が向き合い、解決に努める必要があると思います。その過程で、人々が知恵を結集し、互いに助け合いながら連携協力すれば、解決への道は必ず開かれて行くものと確信します。

当園では、閉園期間中、縮小保育の実施とともに、日々、全職員による研修に励んで参りました。子ども達の、より健やかな成長を目指すための環境づくりについて、職員全員が考えを出し合い、討論し合い、学び合いました。話し合っていく内に、連携協力することや助け合うこと、あふれる笑顔で接すること、真心からの敬意ある思いやりの気持ちなどが、特に大切であるということが導き出されました。最終的に、話し合ったことのすべてを深く内包している「敬意ある思いやり」が、当園の合言葉としてふさわしい、という結論が満場一致で決まりました。これから、私達は、この深い意味が込められた合言葉を、しっかりと実践して行く所存です。

6月、職員一同、あふれる笑顔と、敬意ある思いやりの心で、子ども達を迎えます。

